

読書、スポーツ、芸術の秋…青空はいずこへ

校長 三瓶 昌信

少しずつ秋の気配を感じるようになりました。今年は例年になく、台風や大雨が続き、各地で大きな被害が出ています。東京都も30日以上雨が続けている状況です。

2学期が始まり、1か月が過ぎますが、連日の雨で校庭遊びができず、室内で過ごす日々が続いています。大人でさえ、「外へ出たい」「青空や太陽を見たい」と思う毎日です。子供たちもストレスがたまり、少しイライラしてしまうこともあるかなと思います。こういう時こそ、室内での過ごし方を工夫するよい機会と前向きに捉えたいです。それにしても、秋の青空はどこへ行っただけでしょうか。

10月は、さくらぐみの宿泊学習や1、2年の校外学習を予定しています。そして、24日には「オヤマリンピック」を実施予定です。

今年度から運動会の名称を「オヤマリンピック」と変更しました。一昨年から授業時間の確保や学校行事の見直しの一環として、「表現」を通常の体育学習で行うようにし、新たな行事の創設に取り組んでいます。その発展として、今回名称を変更しました。

運動会だけでなく、様々な学習活動や学校行事の在り方を見直し、保護者や地域の皆様にもお力添えいただきながら、子供たちの所属感や連帯感をより深められるように努力してまいります。

現在愛知県で開催されている「アジア競技大会」の「eスポーツ競技」で11歳の小学生が金メダルを獲得したことが大きなニュースとなりました。皆さんはどの程度ご存じでしょうか。

「エレクトロニック・スポーツ」とは、対戦型コンピューターゲームをスポーツ競技として捉えたもので、20年ほど前から大会が開催され、現在ではプロスポーツとして成立したり、IOC（国際オリンピック委員会）が主催する大会が開かれたりしています。

昔からの「体育人」である私は「あれがスポーツなのか」となかなか受け入れることができませんでした。しかし、世の中の変化を考えたとき、こうした新しいものをどう受け入れていくのかがいいのかを考えるようになりました。

パソコンもスマートフォンも、今では当たり前に使っています。私も若い時には、ゲームに夢中になったこともあります。確かに、世の中は日々変化し、進化し続けています。私が担任時代は「黒板とチョーク」でした。それが今やタブレットです。2～3年後にはどんな授業が展開されるのでしょうか。

何度かお伝えしてきましたが、学校や教員って、変化をあまり好まないところがあります。ICT活用も世の中で最後尾の状況ではないでしょうか。歴史や伝統という言葉の陰に隠れ、変化を避けてしまうようなところがあります。もちろん、それらを軽んじるという考えではありません。「大切にすべきこと」と「前向きに進むこと」をしっかりと見極めていかなければなりません。

天候の急激な変化、eスポーツの金メダル…そして、これからの教育。長雨の中、ふと考えました。